

第76回国民体育大会テニス競技・『ブロック大会(ミニ国体)』を コロナウイルス感染拡大防止対応でやむを得なく中止する場合の指針

JTA国体委員会

<基本方針>

ブロック大会実施の可否については、社会情勢を十分考慮し、主催母体である地域テニス協会・幹事都道府県テニス協会の判断により決定する。

<留意事項>

1. 実施する場合

- ① 感染予防対策を徹底し、開催地行政の示す基準と JTA テニス再開ガイドラインを遵守すること。
- ② 体調不良の参加者等が発生した場合の対応を、関係機関とも相談の上、ブロック大会実施前に確認すること。

2. 実施しない(中止する)場合

- ① ブロック大会を実施しない場合の対応について、地域体育協会・スポーツ協会及び日本テニス協会にも事前の確認を行うこと。
- ② 選考方法の公平性、公正性、透明性を確保すること。
- ③ 選考前までに、ブロック大会幹事県は、ブロックを構成する都道府県テニス協会ならびに都道府県体育・スポーツ協会と協議し、ブロック代表枠の選考方法を決定する。
- ④ ブロック大会幹事県は、選考前までに、選考方法(選考基準、時期)を都道府県体育・スポーツ協会ならびに日本テニス協会と書面にて確認する。
- ⑤ ブロック大会幹事県ならびに該当都道府県テニス協会は、決定した選考方法を都道府県テニス協会等の関係者(選手、監督等)に対し周知する。
- ⑥ 選考対象となる各都道府県テニス協会の登録選手について、選考の前に必ず選手本人の国民体育大会テニス競技参加の意思を確認すること。
- ⑦ ブロック大会を実施しない場合も、参加都道府県体育・スポーツ協会は、国体参加申込システムにおいて、各ブロックの大会実施要項で定めた参加申込締切日までに参加申込手続を行い、ブロック大会幹事県は申込内容の受理作業を行う。

<実施しない場合>

●原則ブロック大会を実施することが望ましいが、予選会が開催できない場合の都道府県選考の取り扱いとして下記の指針を参考とする。

- ① 選考方法の公平性、公正性、透明性を確保し、選考前までに選考方法(選考基準、時期等)を対象となり得る、選手・協会内関係者に周知のうえ、ホームページ等に掲出し、地域テニス愛好者が閲覧可能とすること。
- ② 選考方法案は下記に別途提示するが、その地域の実情に応じて、地域内で十分に協議し、禍根を残すことがないように決定すること。
- ③ 選考方法の決定から選考終了までの会議の議事録を用意すること。
- ④ 選考対象となる都道府県の選手については、選考前に参加資格、(ブロック大会参加意志)、本国体参加の意思確認を済ませておくことが望ましい。

選考方法案(順不同)

- イ) 国体参加選手2名のJTAランキングによる選考(令和3年〇×月〇×日付ランキングを採用するか事前に周知の必要あり。また、出場の意思確認ができないにも関わらず登録した場合は翌年からのブロック大会でのペナルティ等考慮すること)
- ロ) 過去4年間の国民体育大会テニス競技の戦績(戦績を順位点に換算)にて選考する。
- ハ) 過去4年間のブロック大会の戦績(戦績を順位点に換算)にて選考する。
- ニ) 本国体の戦績 40%、ブロック大会の戦績 30%、JTA ランキング 30%にて選考する。
- ホ) 地域内の男女参加枠を協議により割り振り、その残りは抽選とする。
- ヘ) 全てをブロック内の都道府県テニス協会代表者の協議とする。
- ト) 全てを抽選にて決定する。

国体参加資格等は公益財団法人日本スポーツ協会 WEB 参照
<https://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid191.html>

<連絡先>

公益財団法人日本テニス協会(JTA)国体委員会事務局 鈴木宏(常勤ではありません)
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2 Japan Sport Olympic Square 7 階
TEL.03-6812-9271 FAX.03-6812-9275 PH. 090-6477-3302
Mail:japangames@jta-tennis.or.jp